

留学だより vol.5



こんにちは！次世代リーダー育成道場生としてアリゾナ州に留学中の近藤です。なんとということにアメリカでの生活も折り返し地点となってしまい、半分の5か月が終わってしまいました。今回はThanksgivingの旅行の様子やクリスマスについて書いていこうと思います。ぜひ最後まで読んでいただけると嬉しいです。

Thanksgiving

Thanksgivingはアメリカの三大大行事に入るといっても過言ではない行事の1つで、家族や親しい友人と集まり、日々の収穫や恵に感謝する祝日です。私はホストマザーのお母さんがユタ州生まれでほとんどの親戚がそこに今も住んでいるため、ユタ州に4泊5日の旅行へ行きました。ホストマザーのお母さんは五人兄妹なのですが、それぞれが5人、5人、2人、3人、3人と子供を持っているため、マザーには17人のいところがお母さん側だけでもいます。その上、ほとんどの人が子供を持っているため、Thanksgiving当日に私は総勢50人以上の人たちに出会いました。お昼兼夜ご飯ということでThanksgiving dinerをしたのですが、そこには王道のturkey（七面鳥）にmashed potato, Mac and cheeseなどThanksgivingの料理として有名なものがたくさん並んでいました。写真でお見せしたいところなのですが、なんと一生に一度であったであろうのにも関わらず写真を撮り忘れるという痛恨のミスはこの私は犯しました。（とってもビッグな行事なので、どれだけ豪華であったかは皆さんのご想像にお任せします。）

Thanksgivingの翌日金曜日は、みなさんご存じBlack Friday。ホストマザーと一緒に行ったのですが、朝4時に起きて4時15分頃から開店時間の6時まで外に並んで待つということをしてしました。何か目的物があつたというわけではなかったため、ただお店の中を見て半額以下などとなった商品を見て歩き回っていただけだったのですが、円安×物価高の今の状況からすれば少しは安くなったのかな？というのが私の感想でした。昔と比べると今はオンラインで買い物を済ませてしまう人も多いため、朝早くからお店の前に並ぶ人は少ないという話もあります。それでも、日本ではブラックフライデーがここまで大きな事になることはないので、新しい経験もできてすごく楽しかったです。



↑世界でここだけにしかないピンク色のCane's

4泊5日のこの旅行、人生初の10時間ドライブであったこともあり疲労は溜まりましたが沢山のことを経験することができてとてもよかったです。砂漠のイメージがあるアリゾナに留学してこの10か月の間に雪を見れるとは思いませんでしたが、まさかの雪も見れて大満足です。これでアメリカ4州／50州達成。将来いつか50州全て達成できたらいいなと思います

missionaries知っていますか、、、？

突然ですがmissionaryという言葉を知ったことはありますか？宗教に関する活動が他国に比べて盛んではない日本では想像のつく人も少ないかもしれません。私自身もアメリカに来てこの言葉をよく知ったといっても過言ではないと思います。missionaryは日本語に直訳すると宣教師のことを意味します。この言葉は特にキリスト教の布教活動を行うために派遣された人々を指し、異文化圏で宗教を広めたりします。アメリカにおけるキリスト教徒の数は人口の約67%、つまり2億2400万人がキリスト教徒であると自認しているされています。実際に私のホストファミリーや友達の多くもそうで、みんな毎週日曜日は教会に行っています。

さて、なぜ私が突然missionaryの話始めたかというと、今現在ホストマザーの弟（今年で19歳）がmissionaryとして私がthanksgivingで訪れたユタ州で活動を行っているからです。missionaryはほとんどの人が高校を卒業した成人前の人たちで、私の友達にもお兄ちゃん、お姉ちゃんがmissionaryなんだという人は本当にたくさんいます。missionaryは希望制ですが、希望すると母国語を使用するか使用しないかを選択し、それにより派遣先が決められ、その派遣先で約2年間ほど活動をするそうです。家族とメールでのやり取りは可能ですが、電話は週1回決められた曜日に加えてホリデーの日のみ、SNSは使用できなかったりと様々なルールはあるそうですが、私たち留学と少し似たようなイメージです。私がSNSを開いていたまたま出てきた投稿だったのですが、そこには私のホームステイ先から車で5分の高校から昨年卒業した18才の女の子が日本でmissionaryの活動をやりますという知らせを書いていて、日本にも活動をしている人たちがいることを始めて知りとても驚きました。



日本での宗教活動はあまり盛んではないですが、アメリカに来てからはキリスト教について学び、触れる機会も多くなりました。日曜日の教会に行ったことがあるのですが、早口だったこともあり内容がさっぱり分からず単語は聞き取れるものの結局何を伝えているのかが分からずギブアップしてしまいました。

またPrayといって、みんなで円になり腕を組んだり、手を繋いだりしてお祈りをするのですが、これは私も実際に何度も体験しました。アメリカでは日曜日の夜ご飯が週で1番豪華な夕飯になるのですが、その前にPrayをしたり、チアの大会本番直前にコーチ含めチーム全員でPrayをしたり(このシチュエーションの場合は日本でいう円陣と同じこと)と様々な場面でPrayは行われます。誰か1人が代表し神に祈り、それが終わると、今言った祈りの内容を信じています・神に委ねます・この祈りに同意しますという気持ちを表すために、「そのとおりです」・「心から同意します」といった意味を持つ「Amen」という言葉を最後に全員で言うというものです。

宗教について日本では直接触れ、学ぶなどの機会もしたことがなかったため、日々貴重な体験をすることができています。



Merry Christmas!!

先程もお伝えしたようにアメリカはキリスト教徒の人がとても多い国のため、クリスマスはアメリカの人にとって、とても大事なイベントの1つです。クリスマスの元々の起源はキリスト (Christ) とミサ (mass) を組み合わせたもので、イエス・キリストの誕生を祝う日として、12月25日に行われる行事。つまりこの日は、キリスト教の信者にとって特別な意味を持つのです。

さて、クリスマスの時期にある一定の年齢になった時、皆が1度は疑問に思ったことがあるであろうサンタクロースの真実について。真実を知ってしまった私は今年、自分の演技力が試されました。ホストシスターを含めシスターのいところやその他大勢、まだ真実を知らないたくさんの子達と話す機会のあった私は、一生懸命演技をして小さい子たちの夢を壊さないように頑張りました。

12月に入ってからクリスマス当日までの25日間の間には、近所の教会や一部の住宅街がイルミネーションの場所としてとても有名のためそれを見にいったりということをたくさんしました。日本では中々ないですが、アメリカでは車に乗ったままイルミネーションを見ることも主流で決められたラジオの番号を流すと車内では音楽が流れ、それに合わせてイルミネーションが光るなどの楽しい演出にも出会いました。クリスマス当日までの最後の1週間はどこに行っても人だかりができていて大人気のイルミネーションでしたが、たくさんの種類のイルミネーションを見ることができて楽しかったです。



さて、12月25日クリスマス当日。私のホストファミリーは毎年、マザーの家族全員でプレゼントを開けるというのが恒例行事だそうで、この日はマザーのお母さんの家に行きました。本ならば朝はゆっくり起きる予定だったらしいのですが、私のホストマザーの妹が朝7時から仕事に行かなくてはならなかったりと諸事情によりこの日は5時に起床して、6時からプレゼントの開封が始まりました。サンタクロースとトナカイ用に用意してあったミルクとクッキーはもちろんなくなっていて、サンタさんはプレゼントを置いて行ってくれていました。アメリカでは家族間でもそれぞれが1人1人にプレゼントを用意して交換することも主流で、日本では見たことのない、クリスマスツリーの下にも収まりきれないほどのプレゼントの数でした。私もいくつかホストファミリーからプレゼントをもらったのですが、日本でここ数年はクリスマスも誕生日も洋服を一緒に買いに行ってもらおうということなどを多くしていたため、ラッピングペーパーをびりびりに破り、箱を開けて中身を出すという作業のワクワク感を久しぶりに味わえてとても楽しかったです。

2時間かけてようやく全員のプレゼント開封が終わった時には、床一面がラッピングペーパーで敷き詰められていました。私は日本の自分の家の床がラッピングペーパーで覆われる日はきっと一度も来ないだろうなと思いながら、それを全員で片づけました。そして、そのあとはクリスマスだったためお昼兼夜ご飯ということで、チキンやマッシュポテトなどの料理を食べました。これが最初で最後であっただろうアメリカでのクリスマス、当日だけではなく12月の1ヶ月間思う存分本場のクリスマスを味わうことができてすごく楽しかったです。(日本に帰国したあとの来年のクリスマスは、アメリカのようなクリスマスの規模にできるように家族にお願いしようとして考えています！)

最後に

次世代リーダー育成道場生としての留学生活もう早5か月、半分が終了してしまいました。5ヶ月が経つタイミングがちょうど冬休み期間中であつたため、5か月後帰国した時に日本や学校などに自分はどんなことを還元したいのか、そのためには残された期間をどのように過ごしていったらいいのかなど、改めて自分がこの留学という道を選んだ理由などについても振り返るよい時間が過ごせたと思っています。長いようで短かった前半戦、後半は前半よりもあっという間に時間が過ぎて行ってしまうという話も留学を経験した先輩たちから聞きました。この5か月間だけでも私自身をたくさん成長させてくれ、大きく変化を与えてくれた本当に多くの素敵な友達、コーチ、チームメイト、ホストファミリーに出会えたことに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。この場所を離れたくない気持ちが既にすごく強いですが、5ヶ月後に笑顔で日本に帰国できるように、これからも沢山のことを吸収し成長していけるように頑張ります！

最後まで読んでくださり、ありがとうございました。2月8日には留学日より実況生中継もするので、ぜひteamsから申し込みもしてください！次回の留学日より楽しみにしていただけると嬉しいです。それではみなさん、よいお年をお迎えください！！

17期 近藤

*I wish you a Merry Christmas,
and a Happy New Year from USCA!!!*



最後に少しでも今月の写真
今月はチアのチームでの写真撮影会もありました。



クリスマスプレゼントの
ラッピングペーパーの残骸



Ginger bread house